

## 令和6年度 病院関係者・教員個人向け学校評価アンケート集計結果

病院関係者アンケート回収率 76.3%

分教室教員アンケート回収率 100%

※A:そう思う B:やや思う C:あまり思わない D:思わない

※コメント欄のコメントについて

病院関係者の方からのコメントはそのまま載せてあります。

教員個人の意見は趣旨を要約して載せてあります。

問	病	児童・生徒は分教室の授業を楽しみにしている	評価				
			A	B	C	D	わからない
1	病	児童・生徒は分教室の授業を楽しみにしている	53.3%	33.3%	3.3%	0.0%	10.0%
	分	児童・生徒、保護者は府中分教室の授業に満足している	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	—
コメント ◆「今日、行きたくない」「〇〇の授業が嫌だ」と言いながら登校しているので、患者が授業を楽しみにしているかと言われると、"あまり思わない"になる。ただし、医療者としては入院中に分教室に登校できることに大きな意義を感じている。(丘1)							
2	病	分教室では児童・生徒の特性に応じた教育活動が行われている	70.0%	23.3%	3.3%	0.0%	3.3%
	分	府中分教室は、一人一人の特性やニーズに応じた教育を行っている	66.0%	32.0%	2.0%	0.0%	—
コメント —							
3	病	分教室では児童・生徒の人権に配慮した教育活動が行われている	83.3%	10.0%	0.0%	0.0%	6.7%
	分	府中分教室は、児童生徒の人権を尊重した教育を行っている	82.0%	18.0%	0.0%	0.0%	—
コメント —							
4	病	分教室では衛生面や安全面に配慮して教育活動が行われている	70.0%	23.3%	0.0%	0.0%	6.7%
	分	府中分教室は衛生面や安全面に配慮して教育活動を行っている	88.0%	10.0%	2.0%	0.0%	—
コメント —							
5	病	行事の内容や回数は適切である	76.7%	20.0%	0.0%	0.0%	3.3%
	分	府中分教室の学校行事の内容や回数は適切である	36.0%	54.0%	10.0%	0.0%	—
コメント —							
6	病	連携のための会議の回数や内容は適切である	53.3%	36.7%	3.3%	0.0%	6.7%
	分	病院や病棟との連携のための会議の内容や回数は適切である	48.0%	50.0%	2.0%	0.0%	—
コメント ◆連絡会は報告がほとんどなので、1回30分程度で終了できるといいと思います。(丘5)							
7	病	病院向け授業参観の設定や回数は適切である。	66.7%	26.7%	0.0%	3.3%	3.3%
	分	病院向け授業参観の設定や回数は適切である	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%	—
コメント —							
8	病	退院(進路指導を含む)に向けての支援は適切に行われている	53.3%	30.0%	0.0%	0.0%	16.7%
	分	府中分教室の転出や退院に向けての支援、進路指導についての対応は適切である	54.0%	38.0%	8.0%	0.0%	—
コメント —							
9	病	日々の情報交換は適切に行われている	43.3%	30.0%	0.0%	3.3%	23.3%
	分	病棟との日々の情報交換は適切に行われている	50.0%	40.0%	10.0%	0.0%	—
コメント ◆毎日の登下校時以外の情報共有のツールが電話だけの状況。相手の都合を把握していない状況で連絡しているので、一度でつながらず何度も連絡している・連絡していることがある。業務効率も悪く、クラウド上で実施できるといいと感じます。(丘5)							
10	病	コーディネーターによる転学等に関する相談は充実している	50.0%	23.3%	0.0%	0.0%	26.7%
	分	コーディネーターによる転入時の相談や受け入れは適切である	50.0%	38.0%	8.0%	4.0%	—
コメント —							
11	病	幼児や高校生への支援は充実している	30.0%	30.0%	0.0%	3.3%	36.7%
	分	—	—	—	—	—	—
コメント —							
12	病	分教室は対人や電話での応対を丁寧に行っている。	72.4%	24.1%	0.0%	0.0%	3.4%
	分	対人や電話での応対は丁寧に行っている。	84.0%	16.0%	0.0%	0.0%	—
コメント —							
13	病	分教室教員は接遇マナー5原則(挨拶・身だしなみ・表情・言葉遣い・態度)を守っている。	58.6%	34.5%	3.4%	0.0%	3.4%
	分	接遇マナー5原則(挨拶・身だしなみ・表情・言葉遣い・態度)を守っている。	70.0%	28.0%	2.0%	0.0%	—
コメント —							
14	病	—	—	—	—	—	—
	分	武藏台学園府中分教室での勤務に満足している。	38.0%	52.0%	6.0%	4.0%	—

自由意見	<p>◆色々なイベントにご招待いただき、誠にありがとうございます。そこで拝見することもたちの様子、教職員の方々のご尽力に、いつも感銘を受け、また、とても楽しませていただいている。ありがとうございます。(院長)</p> <p>◆いつもありがとうございます。子ども達にとって、病棟と違う場があるのは本当に大切なことだと思います。(心療内科)</p> <p>◆PICUにおけるベッドサイド授業の導入、ありがとうございます。あまりない事例ではありますが、子供の権利として授業が受けられる環境を今後も目指していきたいと思っております。よろしくお願ひ致します。(PICU)</p> <p>◆いつもお世話になっております。こころの病気を併せ持った術後の患児や多様な背景がある中、学校の様子を伝えていただたり、会話から読み取った患児の気持ちや考えに寄り添った対応して頂いています。(空2)</p> <p>◆いつもよく対応して下さっています。8の退院指導(支援)に関してどのようなことを行っているのかわからないことがあります。(退院指導(支援)をしていることもあります)もと、指導のことをアピールしてもよいかと思います。(空5)</p> <p>◆いつも大変お世話になっております。当病棟では体調により急に授業をお休みする児童が多くあります。また検査・治療、外泊や入退院を繰り返す児童がありますが、細かい日程など先の予定まで聞かれることがあります。熱心に対応してくださって感謝しておりますが、身体が優先でありますのでご無理ないようよろしくお願ひいたします。(空6)</p> <p>◆いつも子どもたちのためにありがとうございます。授業の時間は子どもたちにとってメリハリのある生活になっています。これからもよろしくお願ひします。(森2)</p> <p>◆ほとんどの教員の方には、丁寧に対応して頂いています。しかし、一部の教員の方は、急に病棟にきて「児の話を聞きたい」「医師と話がしたい」と言われることがありますが、こちらにも業務がありますので配慮して頂ける助かります。(森3)</p> <p>◆学校に登校することで子どもたちの生活にはりが出てて、成長も感じられ表情も豊かになっているように思います。先生方のご対応に感謝しております。(森5)</p> <p>◆いつも大変お世話になっております。引きこもり・不登校の患児が多いので、入院中に登校練習や習慣づけ、学習などができる環境があることはとてもありがとうございます。また、熱心に関わって頂いていることも感謝しています。今後も密に連絡を取り、患児の成長発達の援助が行なえると良いと思います。(丘2)</p> <p>●ひだまり学級小学部では、病院との連携として週に1回(人数が多いときは週に2回)丘の4番地病棟(学童病棟)との打ち合わせを実施している。児童についてのより詳しい情報共有ができ、指導に役立っている。病院との連携として今後も継続していくとよいと思います。(ひだまり小)</p>	
	<考察・分析>	<提案>
	問1~4 ・数値的にもコメントも良い評価となっている	取組の継続、さらなる改良点がないか検討 問1のAの数値を上げるための工夫を検討
	問5 ・病院関係者の数値的には良い評価だが、教員の評価とずれがある ・行事の見直しや仕事の進め方に対するコメントが目立つ	実施単位で協議し、検証・検討する
	問6、7 ・数値的には良い評価となっている ・回数に対するコメントがある	現状を分析し、次年度の実施計画を立てる際に考慮する
	問8 ・数値的には悪くない。 ・進路指導に対するコメントがある	ひだまり学級で検証し、改善のための検討を行う
	問9 ・数値としては良い評価である ・情報共有の手段やツールの改善に対するコメントがある	各学部で病棟との日々の情報交換など連携をより意識して取り組むための工夫を検討
	問10・11 ・数値としては良い評価となっている	取組の継続、さらなる改良点がないか検討
	問12・13 ・数値としては良い評価となっている	取組の継続、さらなる改良点がないか検討 問12・13ともAの数値を上げるための工夫を検討
	その他 ①病院関係者の回収率が上がった(R5年度56.4%→R6年度76.3%) ②退院指導(支援)についてのアピールがもっとあってもよいという意見をいただいた ③急に病棟に来て話を聞きたいというようなことがあるというコメントをいただいた	①今年度はformsによるアンケート実施の2年目、病院の総務担当リーダーよりメールでの配信+締切り近くでのリマインダーメールの送信を行った、回答者の所属を聞くのみだったので未提出者が特定できず、紙で実施を行わなかった ②退院指導や進路指導等の分教室の行っている支援や会議などを発信する機械や手段を検討する ③問12、13と合わせて社会人としてのマナーについて改めて改善すべき点はないか自己点検する機会や研修などについて検討する 病院との連絡会などでどのような点をどうしたらよいか話題にする ①アンケート対象者の再検討を行う

<考察・分析>	<提案>	<対応策>
問1~4 ・数値的にもコメントも良い評価となっている	取組の継続、さらなる改良点がないか検討 問1のAの数値を上げるための工夫を検討	
問5 ・病院関係者の数値的には良い評価だが、教員の評価とずれがある ・行事の見直しや仕事の進め方に対するコメントが目立つ	実施単位で協議し、検証・検討する	
問6、7 ・数値的には良い評価となっている ・回数に対するコメントがある	現状を分析し、次年度の実施計画を立てる際に考慮する	
問8 ・数値的には悪くない。 ・進路指導に対するコメントがある	ひだまり学級で検証し、改善のための検討を行う	
問9 ・数値としては良い評価である ・情報共有の手段やツールの改善に対するコメントがある	各学部で病棟との日々の情報交換など連携をより意識して取り組むための工夫を検討	
問10・11 ・数値としては良い評価となっている	取組の継続、さらなる改良点がないか検討	
問12・13 ・数値としては良い評価となっている	取組の継続、さらなる改良点がないか検討 問12・13ともAの数値を上げるための工夫を検討	病院との連絡会などでどのような点をどうしたらよいか話題にする ①アンケート対象者の再検討を行う